|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 患者  **記入例** | 氏名 | | 生年月日（年齢） | 性別 | 住所 |
| 千葉　花子 | | 昭和４２年１月１日（４８歳） | 女 | ○○市△△１－１ |
| 診　断　書 | 復職・就労継続 | 上記の方に関する治療状況を情報提供いたします。今後の予定は以下となります。  　□入院にて治療が必要　　　□入院が必要な治療は終了  　□今後外来にて追加治療　　□追加治療は当面予定されておらず外来にて経過観察  　□その他：（詳細） | | | |
| 復職・就労継続の検討の際に参考にしていただければと存じます。　　　　平成　　　年　　　月　　　日  医療機関名：  所在地：  電話番号：  　　　　　　　　　　 　　　医師氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 | | | |
| 情　報　提　供 | 治　療　状　況 | 診断名  １．　　　　　　　　　　　　　　　　発症年月日（平成　　年　　月　　日　頃）　　□　不詳  ２．　　　　　　　　　　　　　　　　発症年月日（平成　　年　　月　　日　頃）　　□　不詳  ３．　　　　　　　　　　　　　　　　発症年月日（平成　　年　　月　　日　頃）　　□　不詳  現在までの治療内容、経過、今後の治療予定を御記入ください。  今後の治療予定は、通院治療の際に、休暇等の配慮が必要かを判断するためにお伺いします。  添付資料について、治療計画書や患者への内容説明書等の写しが御提出可能な場合は、添付をお願いいたします。  経過： | | | |
| 現在までの治療内容  外科的手術　□なし　□あり（術式：　　　　　　　　　　　　　　　手術日：平成　　年　　月　　日）  化学療法　　□なし　□あり（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  放射線療法　□なし　□あり（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  その他治療（内容：ホルモン療法、治験等　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | | | |
| これまでの治療による身体・精神の変化　□なし　□あり（添付資料：□なし　□あり）  これまでの治療による身体・精神の変化がありの場合の内容：ダンピング症候群や人工肛門の造設等に伴う排泄、食事等の状況、骨髄抑制の有無、皮疹、鬱・不眠などの副作用に伴う身体・精神機能について記入。 | | | |
| 今後の通院・治療予定  通　　　院　□不要　□要　（回数：　　回／月・週　　　期間見込み：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  外科的手術　□なし　□あり（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  化学療法　　□なし　□あり（内容：　　　　　　　　　　　　　　期間見込み：約６カ月　　　　　　　　　　）  （術後補助化学療法：3ヶ月に1回程度、効果判定を実施しつつ継続予定。2週間に1回の通院頻度の見込み。　　）  放射線療法　□なし　□あり（内容：　　　　　　　　　　　　　　期間見込み：約３０日　　　　　　　　　　　）  その他治療（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　期間見込み：　　　　　　　　　　　　　　） | | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  | 今後の治療により見込まれる注意事項　□なし　□あり　（添付資料：□なし　□あり）  今後の治療により見込まれる注意事項がありの場合の内容：ダンピング症候群や人工肛門の造設等に伴う排泄、食事等の状況、骨髄抑制の有無、皮疹、鬱・不眠などの副作用に伴う身体・精神機能について記入。また、一部の抗がん剤（アルコール含）の実施をしている患者の運転制限等、リスクを伴う事柄も記入。  この情報提供書は、がんと診断された時にすぐに仕事を退職するのではなく、仕事と治療の両立を可能にするための主治医と患者・会社・産業医を結ぶ資料になります。患者の今後の就業方針が定まることを踏まえて、主治医意見を記載頂くようお願いいたします。 |
| 主 治 医 意 見 | 復職・就労継続についての意見　　　　□なし　□あり  ありの場合の内容：通勤や従事する業務内容等について、注意や  配慮が必要な場合は記入。 |
| その他　　　　　　　　　　　　　　　□なし　□あり　□産業医判断で可  ありの場合の内容：治療の見込期間（○年○月位まで治療予定）等を記入。 |